

Future

プロジェクト～ふりかえりの重要性～

4年生が始まってから、「1年生を迎える会プロジェクト」「水の循環・保全プロジェクト」と進めてきましたが、子どもたちに何度も言い続けているのがふりかえりの大切さです。

SOLANでは下記の視点を用いてふりかえりをしています。こちらは昨年8月の探究の授業で三宅先生が示してくれた視点で、今では教室にも貼り出し、常に意識をしています。

プロジェクトの授業の場合、単元の最初にテーマやゴールとなる成果物を私たちが発表し、子どもたちとともに疑問を出し合い、学習の流れを話し合っているため、見通しを持って取り組むことができます。こういった学習では、授業の中で「できなかったこと」「次頑張ること」そして「できなかったことをどう考える」というのが非常に大切です。何ができなかったのか、それはなぜなのかを考えることで、その後の授業で意識すべきことを考えられることができます。時間が足りなかったのか、活動を理解しきれなかったのか、グループで協力できなかったのか、できなかった理由は様々で、時には自分自身に理由がない場合もあります。また「次に頑張ること」を考えることについては、見通してをもち、予想をしたり事前に考えたり、授業以外の時間で準備したりと、自分なりに考えることも大切にしています。こういったことを考えることで、学びは先生から一方的に教わるものではなく、自分自身で作り上げるものや、周りとの協働的に進めるといった自分事になるきっかけを掴めると考えています。

先日別の学校の数名の先生と「ふりかえり」について話をした際、「『やったこと』『分かったこと』は書いているけど、他の視点はなかった。普段させているふりかえりもどちらかと言うと、（教師側の）自分の授業の見直しのために近かったけど、こども自身のためにはそこまで考えるのは大切だね」という話になりました。

4年生の中でも意識はまだばらつきがありますが、ふりかえりの具体性や、「できなかったこと」「次頑張ること」を書く意識をもとうとしている子は増えてきています。子どもたちの書いた自己評価とふりかえりに対しては、次の授業までに私たちも評価とコメントを返しています。プロジェクトの授業前には、子どもたちにはこちらの書いたコメントを読んで、授業に繋げてもらえるようにしています。私たちが評価・コメントを書いた時点で公開していますので、保護者の皆様には是非とも子どもたちのふりかえりとともに、私たちのコメント、またそこに込めているこちらのメッセージも見いただければと思います。

探究-SOLAN学習～保護者サポーター～

昨年度の第4Qから始まった探究～SOLAN学習～での保護者サポーターですが、今年度も2～4年生の探究の授業で、5月からスタートしました。4年生の保護者の方も時間を見つけて参加してくださっていて本当に嬉しいです。お越しいただいた方からは「それぞれに合った言葉のかけ方の難しさ」や「来てみて探究のことがよく分かった」と様々なご意見や感想をいただきます。まだ6月分も募集中ですし、また第2Qからも同様に進めて参りますので、お時間ありましたら是非ともご参加いただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

今年度からスタートしたホームページ内の[「探究レポート」](#)も是非ご覧ください！

↑こちらからご覧ください↑

ふりかえり

～活動のすがたが見える！～

- ・やったこと
 - ・できたこと
 - ・できなかったこと
 - ・つぎにがんばること
- できなかったものをどう考える？